

議会だより

北竜町議会

議会構成決まる

議長



ささき やすひろ
佐々木 康宏

副議長



なかむら しょういち
中村 尚一

3月31日に改選後初の臨時議会が招集されました。臨時議長（木村和雄議員）による、仮議席の指定、議長の選挙を行い、佐々木康宏議員が議長に当選しました。

その後、佐々木議長により、副議長選挙、議席の指定、常任委員・議会運営委員の選任、各一部事務組合の議員選挙、監査委員の選任、広報特別委員会の設置、閉会中の所管事務調査について可決し閉会いたしました。

就任のご挨拶

議長 佐々木康宏

第十二代、北竜町議会議長に就任をいたしました。よろしくお願いをいたします。

北竜町は、今、大きな時代のうねりの中でどこに着地点を見つけ出し、何をチャンスととらえるのかという方向性を決めて行かなければなりません。町民の皆さんの声を一つ一つていねいにお聞きいたします。

そのために議員は地域各地におります。

町長と議会は二元代表制であり、共に選挙で選ばれた機関です。政策提案権は町長にありますが決定権は議会にあります。議員にも自らの政策についての意見発言権があります。議員は多人数ですから、町民の皆さんの多くの意見を聴く数を有しています。どうか、皆さんの身近な議員に様々なご意見をいただきたいと存じます。

過去から学びとること、現在をしつかり分析すること、

未来にどう向かっていくかをしっかりと考えて行かなければなりません。価値を高めている農業と北竜町の歴史の中では未だ三分の一程度を占める年数ではありますが、「ひまわり」を私たち町民全員で育てて来た自信を、もっと大きくしなくてはならないと思っています。課題を成長の原動力とすることです。

今回の当選されました議員各位の抱負をお知らせする機会も検討します。選挙も無く、選挙広報の発行も出来ませんでした。

議会報告会等を含めて「開かれた議会」に努めます。皆様の議会・町政に関するご意見をお寄せ下さい。よろしくお願ひ申し上げます。

常任委員会及び議会運営委員会の構成

○総務産業常任委員会

委員長 尾崎 圭子
副委員長 松永 毅
委員 寺垣 信晃
委員 佐藤 稔
委員 木村 和雄
委員 中村 尚一

○議会運営委員会

委員長 寺垣 信晃
副委員長 木村 和雄
委員 尾崎 圭子
委員 中村 尚一

一部事務組合 議会議員

北空知広域水道企業団 議会議員

松永 毅

北空知衛生施設組合 議会議員

中村 尚一

北空知圏学校給食組合 議会議員

寺垣 信晃

深川地区消防組合
議会議員
木村 和雄

北空知衛生センター組合
議会議員

尾崎 圭子

中・北空知廃棄物処理

広域連合議会議員

佐々木 康宏

同意

監査委員の選任について

議会議員選任

佐藤 稔

広報特別委員会の 設置

○広報特別委員会

委員長 寺垣 信晃
副委員長 木村 和雄
委員 尾崎 圭子
委員 中村 尚一

定例会

令和5年第1回定例会は3月7日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

■調査期日 12月16日

■調査事項 農業後継者及び担い手対策事業について

■調査結果 指摘事項なし

■調査期日 1月17日

■調査事項 町道及び公共施設等の除排雪状況について

■調査結果 指摘事項なし

災害対策特別委員会

■会議規則第76条の規定により最終報告

■まちづくり等調査特別委員会

■会議規則第76条の規定により最終報告

北竜町農業の未来を考える特別委員会最終報告

■会議規則第76条の規定により最終報告

同意

○教育委員会委員の任命について
寺垣 和子 氏

○北竜町表彰条例に基づく表彰について
川本 隆幸 氏
辻 正昭 氏
渡辺 隆 氏
加藤 幸 氏

原案可決

○財産の無償譲渡について

○桜岡団地D棟建設・駐車場整備工事請負契約の締結について

○職員の定年等に関する条例の一部改正について

○職員に限限についての手続及び効果に関する条例等の一部改正について

○北竜町個人情報保護法施行条例の制定について

○北竜町個人情報保護審査会条例の制定について

○北竜町議会の個人情報保護に関する条例の制定について

○北竜町選挙ポスター掲示場設置条例の一部改正について
○北竜町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

○北竜町奨学資金貸付基金条例の一部改正について

○北竜町特別奨学資金貸付基金条例の一部改正について
○令和4年度北竜町一般会計補正予算(第11号)について

既定予算から264,116千円を減額し、予算総額を3,744,316千円とする補正予算

○令和4年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について

既定予算に22,399千円を減額し、予算総額を281,474千円とする補正予算

○令和4年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第5号)について
既定予算から1,923千

円を減額し、予算総額を101,989千円とする補正予算

○令和4年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

既定予算から191千円を減額し、予算総額を39,184千円とする補正予算

○令和4年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第3号)について

既定予算から11,894千円を減額し、予算総額を287,548千円とする補正予算

○令和4年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第4号)について

既定予算から21,094千円を減額し、予算総額を470,279千円とする補正予算

○令和4年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第4号)について

既定予算から668千円を減額し、予算総額を120,596千円とする補正予算

○令和4年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第5号)について

既定予算から4,725千円を減額し、総額を224,742千円とする補正予算

委員会報告

予算審査特別委員会

調査期日 3月9日～10日

■ 審査事件 令和5年度予算会計(8会計)、北竜町国民健康保険条例の一部改正について 外

■ 審査結果 文書による指摘2件、口頭による意見2件を付与し、原案通り可決すべきものと決定する。

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○物価高における農産物の適正な価格形成と農業経営の存続に向けた需給改善対策の強化についての意見書

一般質問

3月7日に開会された第1回定例会では、4名の議員から5件の一般質問がありました。



小松議員

帯状疱疹ワクチン接種について

小松議員

帯状疱疹は80歳までに3人に1人が発症すると言われていて、50歳以上の人はワクチンを接種することによって予防することができます。

自治体によってはワクチン補助をしているところもあるが、北竜町として接種費を助成する考えはないか伺う。

佐野町長

帯状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気であり、赤い斑点と水ぶくれが帯状に生じ、痛みを伴う。加齢や疲労、ストレスなど、免疫力の低下が原因となり、50歳代から発生率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われていて、

理に心がけ、免疫力が低下しないようにすることが大切だが、ワクチン接種により予防することができる。

町民の感染状況は、レセプトで確認したが、帯状疱疹を含む水ぼうそうやはしか等ウイルス性皮膚疾患について、40歳以上の国保加入者及び後期高齢者保健ではそれぞれ10人が確認され、罹患率については国や道より低い数値となっている。

現在2種類のワクチンがあり、接種を受けた場合、それぞれ1万円、若しくは5万円程度かかる。全国的にもワクチン接種に対する助成の動きがみられるが、道内自治体の助成状況については、5町で助成を実施している。帯状疱疹ワクチンについては、接種を希望する方が任意で受ける予防接種と位置付けられているため、本町においてワクチン接種の助成について検討した経過はないが、患者数の増加や、合併症のリスクもあるため、助成について検討していきたい。



尾崎議員

マイナンバーカードの是非と今後の扱いについて

尾崎議員

個人識別番号「番号法」が

成立したのが平成25年5月、令和2年での全国普及率は16

%だったのが、マイナポイントの付与で令和4年10月末に51.1%、その後ポイント付与と最終2月末で全国平均が70%を超える結果となった。

しかし、個人情報漏洩やセキュリティ体制への不信任感、銀行口座との紐付けや紛失した場合の不安がある中、カードの設計不良も発生している。本町では時間外窓口を設けて平日に来庁できない町民や普段出向けない方には出前の方法でも取り組まれていることは存じている。

○時間外窓口開設に要した人員・時間・日数と、後も取り組む予定はあるのか。
○取得希望しない町民は今まで通りで可能か。

以上理事者に伺いたい。

佐野町長

1月末時点での全国カード交付率は60.1%であり、北竜町は77.35%となつて未取得者は300人程である。カードのセキュリティについては、カード本体にはプライバシー

性の高い情報は記録されておらず、不正に情報を取得しようとするると自動的に情報が書評され、更に使用時には必ず暗証番号が必要になるなど、万全な対策が施されている。

国は「デジタル田園国家構想交付金」としてカードの申請率の高い自治体へ、優先してデジタル化の推進に必要な交付金を交付するとしている。本町の時間外窓口の取り組みは令和2年7月より取り組んでおり、当初は月に3回開設しておりましたが、現在は月一回、戸籍係2名が対応し、開設時間は17時15分から19時2月までに46回開設、利用者は38人となつており、今後もカード申請者に対する商品券の交付や出張申請の対応など、申請しやすい環境づくりを継続する。

また、これまでの健康保険証は令和6年で廃止し「マイナ保険証」へと転換するが、未取得者や紛失した人などには資格確認書を発行する規定も盛り込んでいる。

藤井議員



各種助成金について

藤井議員

北竜町では老人世帯において、除雪にかかった費用の領収書を持つて行き、申請すると2分の1の助成がもらえるが、請求書等で町が支出できないか。後から領収書の提出をすることで、本人の負担を減らせないか。

次に土地取得や設備投資等の助成金の先払いをできないか。又、金額の大きいものには保証人等を付け、対応できないか。同じ金額の助成であっても利用する側からは先に支出して頂けると、大きなお金を用意しないで済むため効果があると思うが、理事者の考えを伺いたい。

佐野町長

現在、本町では各助成金の交付に係る条例、要項、財務規則等では概算払いに関する記述はほぼなく、申請者の支

払実績に応じて助成金の支出行っているのが現状である。

仮に代金の支払い前に町が助成金を支出すると、申請者から契約書を添付した申請書、概算払い請求書を頂き、8割までの概算払いを行う。その後、支払い完了後に領収書等を添付した申請書を頂き、精算払いとして残りの2割を支払う事となる。

又、申請者の支払いがなされなかった場合、町が支出した助成金の返還作業が生ずる等、申請者は複数回申請作業が生じ、これまで以上に事務が繁雑すると予想される。

これらの事務手続きは、町が公金を支出する上では、欠かすことができない。又、定住促進条例や商工元氣支援応援条例に規定されている土地取得、家屋等の新築に係る奨励金等では、前払いされるべ

きものではないと判断しているため、ご理解頂きたい。

藤井議員

前払いを地元企業の利用や請求書で対応できないか。

定住促進、商工会支援条例の関係で前払いされるべきではないとのことだが、仮に先に8割出せて、後で2割となれば、足を何回も運んでも苦にならないのではないか。他町で行なっていない事に挑戦して頂きたい。

高齢化が進み、運転免許の返納が進むが、場合によっては職員が申請者宅に出向く等のサービスも必要となるのではないか。

佐野町長

助成金を前払いするとなると、行政としては、規則・定期監査等で多くの書類対応等があり、整える必要がある。出来る範囲の中で、推奨しやすい方法を考えて行く。

今後、職員が出向く事についても、職員と共に構築して行く。





藤井議員

SDGsについて

藤井議員

SDGsの取り組みが広がっているが、北竜町ではどのようなことを検討しているのか、

又、ペーパーレス化について検討されているのか。インターネット環境の拡充、SDGsの考え方が広がる中、紙等の印刷物が減ってきているが、町の広報誌等は変わらず、全戸配布されている。回覧板があることにより近所の方の様子もわかる利点もあるが、パソコン等の普及が進んでいる中、減らして行くような取り組みはしているのか。又、一緒に配布されている書類をHPで閲覧できれば、さらに良い。費用面でも印刷、紙代の費用等も削減ができ、町内会役員の負担も軽減できると考えるが、理事者の考えを伺いたい。

佐野町長

北竜町におけるSDGsの取り組みについては、国際目標となる17のゴールに対し「北竜町総合計画」の各施策を組み合わせつつ、ひまわりの町北竜に似合う活動を検討したいと考えており、令和5年度に予定している後期計画の策定に反映できるように進めている。

庁舎内のペーパーレス化については、デジタル化検討委員会を配置し、自治体DXの推進と併せ検討を進め、現在一部の会議ではタブレット端末を使用したペーパーレス会議の実施や予算策定時における予算見積資料の電子化等を実施している。

町内会配布物の電子化、インターネットでの閲覧については、現在、町広報はホームページでの閲覧は可能、他の

配布物の掲載はしていない。スマートホン等の普及によりインターネット環境は一定程度普及していると考えながら、子供から高齢者まで幅広い年代に見てほしいという観点から、配布については町内会長等に意見を伺い、進めていく。

藤井議員

配布物全てが町ホームページで閲覧できるか、又は町広報以外は各々のホームページなどで閲覧できればと思う。広報誌は保育園・学校等に置けないのか。町内会長に聞くとのことだが、アンケート調査をし、検討してはと思う。

佐野町長

議会等でも、タブレットによる説明は、まだ時間がかかると。十分に準備し検討して行く。



中村議員

北竜町議会議員選挙について

中村議員

この度、町議会議員選挙が執行され、現職4名、新人3名の合計7名が無投票当選した。1名の欠員となったが、今後、議会運営においても影響があると思うが、今後の議員の後継者、担い手対策について町長の見解を伺いたい。

佐野町長

今回の町議会議員選挙の結果については、再選挙は免れたものの改選時から欠員が生じる事態となった。全国的にも地方議会議員のなり手不足が報道されており、国が提唱する「地方創生」推進のためにも抜本的な改革が望まれるところである。

議員と共に、一人でも多くの方が町行政に参加いただき「議会議員になりたい。」と思っただけの方を育てていきたいと考えている。

中村議員

来年の補欠選挙にて候補者が出ないと、今後定数削減の声が出てくるのが危惧されることがあったが影響はあったか。

佐野町長

行政運営には、特に影響がなかったものと思っている。

中村議員

議員のなり手不足は、かなり前から問題視されており、各地で様々な取り組みがされてきた。議会としても何らかの取り組みが必要である。

幼少期から他人を思う幅広い教育が必要であると思われるが、保育園・小中学校を通じて指導が必要なのではないか。

有馬教育長

教育執行方針にもあるように、全て子どものため、町民

のためのスタンスの教育を行っていく。

中村議員

今回からは供託金が必要になった。今回の告示日は祝日だった。郵便局の働き方改革の関係により、選挙期間が6日間となった。2月28日投票日という特例選挙で行い、さらに特例により公職選挙法による町議会議員は5日間の選挙期間とならないか関係する他の町とも協議が必要なのではないか。

佐野町長

栗山町の「議員の学校」や議員確保の取り組みをされた町もあり議会とともに議員確保のための検討を進めたい。選挙期間については選挙管理委員会とも検討していきたい。町村会でも問題がなかったか確認したい。



活動報告

【4月】

- 3日…やわら保育園入園式
- 7日…真竜小学校入学式、北竜中学校入学式、交通安全祈願祭
- 19日…総務産業常任委員会
- 24日…例月出納検査（監査委員）
- 25日…北空知衛生施設組合臨時議会

活動予定

【5月】

- 17日…北竜町開拓記念式及び北竜町表彰条例に基づく表彰式
- 19日…空知町村議会議長会臨時総会
- 23～24日…全国議長・副議長研修会
- 26日…中・北空知廃棄物処理広域連合臨時会、北空知議長連絡協議会総会
- 未定…例月出納検査（監査委員）

議員の賛否の公表

（北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています）

令和5年第1回定例会（会期：3月7日～14日）

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：議長の為賛否無し

▽議案 件名	中村	尾崎	北島	小松	小坂	松永	藤井	佐々木
教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町表彰条例に基づく表彰について（4名）	○	○	○	○	○	○	○	-
財産の無償譲渡について	○	○	○	□	○	○	○	-
桜岡団地公営住宅D棟建設・駐車場工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	※	-
職員の定年等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
職員の分限についての手続及び効果に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町個人情報保護法施行条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町個人情報保護審査会条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町選挙ポスター掲示場設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町奨学資金貸付基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町特別奨学資金貸付基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	-

次ページに続く



令和4年度北竜町一般会計補正予算（第11号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算（第5号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度北竜町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和4年度北竜町簡易水道事業会計補正予算（第5号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
本会議における質疑の件数	質疑 3件	質疑 0件	質疑 3件	質疑 1件	質疑 1件	質疑 1件	質疑 1件	-

※地方自治法第117条の規定により退室

予算審査特別委員会（3月9日～10日） ○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長・監査委員の為賛否無し								
▽委員会付託案件	中村	尾崎	北島	小松	小坂	松永	藤井	佐々木
北竜町国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について（観光施設）	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について（社会体育施設）	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について（碧水地域支え合いセンター）	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について（やわら保育園）	○	○	○	○	○	×	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について（地域子育て支援センター）	○	○	○	○	○	○	-	○
令和5年度北竜町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和5年度北竜町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和5年度北竜町立診療所事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和5年度北竜町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和5年度北竜町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和5年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和5年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和5年度北竜町簡易水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町過疎地域持続的発展市町村計画の変更について	○	○	○	○	○	○	-	○
予算審査特別委員会における質疑の件数	質疑 10件	質疑 6件	質疑 3件	質疑 0件	質疑 1件	質疑 3件	-	質疑 2件

予算審査特別委員会における議員質疑（意見附与・修正を求めた質疑）

質疑内容	答弁内容
<p>『サンフラワーパーク北竜温泉レストランについて』 特産品を使用したメニュー開発を任務としている地域おこし協力隊について、レストラン調理員として当初採用していたが、現在、町内飲食店に勤務しながら料理教室や広報へのメニュー掲載などを行っている。 サンフラワーパーク北竜温泉の調理師については、これまでも数名の採用があったが、短期間で退職に至っている現状から、抜本的な解決策の検討をしていかななくてはならないのではないか。</p>	<p>短期間での退職は病気や家族の病気等の理由があったの退職であるが、調理師の確保に全力を挙げ取り組みたい。</p>
<p>『介護福祉士修学資金貸付について』 永楽園介護職の確保に苦慮している状況を踏まえ、保健師就業資金貸付や保育士就業資金貸付同様、介護福祉士修学資金貸付についても北竜町在住者及び出身者以外も対象にするなど対象要件の緩和について検討願いたい。</p>	<p>介護福祉士を目指す人も少ない事から改正について検討したい。</p>
<p>『ひまわりの展望台について』 今後どうしていくのか早急に検討願いたい。</p>	<p>資材高騰の中、建設費が倍以上になった。社会情勢、経済情勢、北竜町の財政規模でどれくらいのが出来るか、もう一度検討していきたい。</p>
<p>『带状疱疹ワクチン接種助成について』 町民の带状疱疹による身体負担や医療費の削減等を図るため、予防接種実施について検討願いたい。</p>	<p>年内に改正できるように取り組んでいきたい。</p>



ご挨拶のこと
 この度、私儀、先の北竜町議会議員選挙におきまして初当選させて頂きましたこと、この紙面をおかりし、町民の皆様には厚く御礼申し上げます。また、先般開会されました令和5年第2回北竜町議会臨時会に初登壇を折り、議会運営委員長並びに広報特別委員長の選任を賜り歴代の諸先輩議員が担われてこられた重責に思いを致す時、甚だ不肖力不足の身を嘆かざるを得ません。

省みますに、北竜町へ帰町致しましてから早いもので30年が過ぎ、この間、拙寺の門徒の方々はもとより、多くの町民の皆様には大変お世話になりました。

何より、自然豊かで人間味溢れる北竜の地にての子育ては、都会では決して味わうことのできない貴重な時間であり、かけがえのない体験や経験となり人生に深く刻み込まれたいと思っています。

これよりは、平成25年より北竜町教育委員として9年半にわたり微力ながら教育行政に携わさせて頂いた経験と共に、今日に至るまでお世話になった北竜町の為に尽くして参る所存でございます。

人口減少、超少子高齢化社会を迎え、様々な困難な課題を抱えていることも紛れもない現実ではありますが、北竜町開闢以来、先達方の弛まぬ努力を偲びつつ、町民皆様の叡智を頂きながら未来を担う子供たちに恩沢を継承していきますよう、邁進いたします事をお誓い申し上げます、意見を尽くしませんが広報特別委員長のご挨拶に代えさせていただきます。

（寺垣 信晃）